

リュブリャーナ大学文学部アジア・アフリカ学科日本研究講座
2001/2002年度 機関報告

1. 機関概要 所在地 Filozofska fakulteta, Univerza v Ljubljani,
Aškerčeva 2, 1000 Ljubljana SLOVENIA
電話 +386-(0)1-241-1446 ファックス+386-(0)1-425-9337

アジア・アフリカ学科は、1995/96年度にリュブリャーナ大学文学部内に設立され、当初から日本研究と中国研究の2講座が存在する。スロヴェニアでは、両研究分野とも、当学科設立以前はスロヴェニア東方学会の枠内で活動があり、一般向け語学講座やシンポジウムなどを行っていたが、学科はそれらの活動を吸収、発展させている。

2. 日本研究スタッフ

準教授	ベケシュ・アンドレイ	Andrej Bekeš
助手	寒川クリスティーナ	Kristina Hmeljak Sangawa
助手兼司書	重盛千香子	Chikako Shigemori Bučar
助手	若野恵	Megumi Moshino
語学専任講師	小林玲子	Reiko Kobayashi
助手	熊谷容子	Yôko Kumagai
助手	遠藤由紀子	Yukiko Endô

3. 学生数 (2001年10月現在)

<u>日本研究正規</u>		<u>一般向け公開講座</u>	
1年生	59名	初級	約20名
2年生	29名	中級 (後期のみ)	<u>5名</u>
3年生	32名		計25名
4年生	11名		
5年生 (卒論準備中)	<u>19名</u>		
	計150名		

4. 日本研究カリキュラム (数字は週当たりのコマ数、1コマ50分)

- 1年生 現代日本語I (講義2、演習5、LL1、表記2)
東アジア史I(2)
- 2年生 現代日本語II (講義2、演習6)
日本語文法概論(2)
人文学研究方法論I (2)
東アジア史II (2)
- 3年生 現代日本語III (講義2、演習2)
日本文学概論 (2)
翻訳入門I (2)
古典入門 (2)
中国哲学 (2)

- 4年生 翻訳入門Ⅱ(2)
東アジア思想史(2)
東アジア文化史(2)
日本語情報処理入門(2)
人文学研究方法論Ⅱ(2)
選択科目 古典(2)、書道(2)、漢文(2)、イスラム史入門(2)、
日本史特講(2)、日本社会特講(2) ほか

5. 現代日本語教科書

- 1年生 Sodobni japonski jezik I - prvi koraki (現代日本語Ⅰ上) FF Ljubljana 2000
守時なぎさ、小林玲子、武田詩子、高木陽子、倉品さやか著
Sodobni japonski jezik I - osnove (現代日本語Ⅰ下) FF Ljubljana 2001
倉品さやか、加藤紀子著
2年生 『文化中級日本語Ⅰ』文化外国語専門学校編 1994
3年生 『文化中級日本語Ⅱ』文化外国語専門学校編 1997

6. 今年度の主な動き

集中講義 客員教授として、村崎恭子先生(樺太アイヌ語)、井上史雄先生(言語学)高橋武智先生(文化・歴史)、砂川裕一先生(歴史・比較文化)に集中講義をお願いした。

実習 筑波大学日本語・日本文化学類と同大学地域研究研究科から3月に3人、7月に4人の学生が来て、当学科の学生、および学外からの学習希望者を対象にそれぞれ2週間の日本語教育実習を行った。

留学 筑波大学日本語・日本文化学類との協定のもとに、2001年9月に2人筑波大学へ1年間留学。

2001年10月に東北福祉大学から4人、11月にはリュブリャーナ大学から東北福祉大学へ1人、それぞれ1か月の短期交換留学。

2001年10月より群馬大学からリュブリャーナへ2人、リュブリャーナから群馬大学へ1人、1年間の留学生交換。

2001年10月から日本文部省奨学金の日本語日本文化研修留学生として東京外国語大学と埼玉大学へ1人ずつ1年間留学。

2002年7月に国際交流基金日本語履修大学生訪日研修に1人(2年生在籍)参加。

7. 問題とこれからの課題

(i) 文学、文化、歴史、事情などの分野は今のところ客員教授の集中講義に頼っている。

(ii) 学生はもうひとつの専攻も履修しなければならないため、負担が重い。

(iii) 研究室、図書室が大変狭いのが問題になっていたが、2002/2003年度から5年間の地下室での活動に終止符を打ち、新しくできた別館へ引っ越す予定である。

文責 ベケシュ、重盛